

交流情報誌

季刊

新往来

第13号 2004. 6.18

編集・発行

農林水産省農村振興局農村政策課



掲載記事一覧

わがまち自慢 . . . 3

- 世界自然遺産白神山地を体験「岳岱自然観察教育林」
(秋田県藤里町)
- 「守ろう！創ろう！楽しもう！」西鬼怒の川に親しむ会
(栃木県河内町)
- そば道場「ふれあいの里いずみ亭」がオープン！
(埼玉県児玉町)
- 夏の風物詩～ひまわりが咲き誇ります (神奈川県座間市)
- えごまで商品開発 (長野県栄村)
- 活躍しています「ゆりブランド部会」 (福井県春江町)
- 美濃和紙あかりアート展 (岐阜県美濃市)
- 創作太鼓「紀宝楽」 (三重県紀宝町)
- 伊吹ゆり園 (滋賀県伊吹町)
- 地産地消「旬菜市」が好評！ (兵庫県龍野市)
- 戸河内町の楽しみ方 (広島県戸河内町)
- 時間も止まる癒しの島「つたじまと青い海」
(香川県仁尾町)
- 四万十の輝きとなつかしさのまち (高知県中村市)
- れんげ・菜の花が彩る遠賀の春 (福岡県遠賀町)
- 吉野ヶ里遊学館は町への入口 (佐賀県神埼町)
- ふれあい大牟田農産加工センター (宮崎県高崎町)

わがまちの旨いもん . . . 8

- なつかしい味「浅めし食堂」 (青森県青森市)
- 玄米とエゴマ (じゅうねん) のクッキー
体に村に元気呼ぶ (福島県白沢村)
- おばあちゃんらの手作り漬物 (農々工房)
(三重県宮川村)
- 忍者の手裏剣をイメージした「黒影おこわ」
(滋賀県甲南町)
- 上月町特産「もち大豆」 (兵庫県上月町)
- 愛情たっぷり・ミルクジャムとミルクプリン
(広島県湯来町)
- 九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道に乗って美味しいもの三昧！
(熊本県八代市)
- 鯉料理 (宮崎県小林市)

私達、輝いています . . . 11

- 地元野菜でヘルシーせんべい作り
～安土町生活改善グループ～ (滋賀県安土町)
- 地元野菜・果物の加工グループ「ぐりーんぐらす」
(兵庫県明石市)
- 地域農産物を活かして 新たな加工品づくりに挑戦！
(福岡県ふくおか嘉穂農業協同組合)

交流・連携通信 . . . 12

- 風車とローズマリーの里市民農園 (千葉県丸山町)
- 丸山千枚田オーナー制度 (三重県紀和町)

Let's 農業 . . . 12

- 平成16年度「東金・市民農園」利用者募集
(千葉県東金市)

アンテナショップ情報 . . . 13

- 旬の里ねぎぼうずオープン！ (千葉県茂原市)
- 秋川ファーマーズセンター (東京都あきる野市)
- 食彩館しょうばら ゆめさくら (広島県庄原市)
- 筑前あしや「海の駅」 (福岡県芦屋町)

わがまちのユニーク施策 . . . 14

- Let's go 囲碁 (神奈川県平塚市)
- 特区制度を活用した新たな地域活性化策への取組
(新潟県東頸城郡)
- 特色ある地域づくり事業 (岐阜県丹生川村)
- 全国の大学生が米原町のまちづくり提案
「米原町知の交流まちづくり研究補助事業」
(滋賀県米原町)
- 新しいコミュニティビジネスの模索 (兵庫県加西市)
- 企画展「開明の道を編む七」(開明の道プロジェクト)
(佐賀県佐賀市)

イベント情報 . . . 16

- 平成16年7月から平成16年9月までの期間に全国各地
で開催が予定されているイベントの情報

農村振興局からのお知らせ . . . 24

表紙の写真

元気な農家で農業体験

北海道風連町

北海道北部に位置する風連町は、もち米の里と呼ばれる豊かな水田地帯が続き、周囲を大自然が取り囲んでいます。そんな風連の元気な3農家が、消費者に自分たちの農場を観光してもらい、交流を図ろうと「フウレン・フレッシュ・ファームズ」を結成し、農業体験ツアーを企画実践しています。ひまわり畑が黄色一色に染まった9月の収穫期になると、札幌等都市圏から多くの方々がチャーターバスで訪れ、収穫体験・バギー体験、羊の毛刈体験、フラワーアレンジメント教室などの各種メニューを楽しんでもらっています。

消費者と生産者の交流も目的の一つであり、参加者には土台作りの大切さを必ず説明するところから始まります。「この体験を通じて、農家の熱い想いや真剣さが伝われば」と考えており、生産者の顔が見える安全で安心な食品のPRに力を注いでいます。今年も9月中旬に開催予定です。

- お問い合わせ先：神田ファーム TEL:01655-3-2555

このコーナーでは、全国で唯一のもの、自称日本一のもの、是非知ってもらいたい活動や人等市町村からの自慢情報を紹介いたします。

世界自然遺産白神山地を体験「岳岱自然観察教育林」

秋田県藤里町

県道西目屋二ツ井線分岐点から黒石沢林道に6.6 km。標高約600mの台地に形成された岳岱自然観察教育林は、世界自然遺産「白神山地」に属しています。岩塊と原生林の調和のとれた庭園の趣を持つここは、ブナの実生から稚幼樹、幼木、成木、老木に至る生育過程を観察することができる数少ない教育林となっています。

約12haのブナ林の中において、多くのシダ類に原始を感じるとともに、遊歩道沿いではサワグルミやヤチダモといった樹木、春にはモリアオガエルの卵、そして林床ではスミレサイシンやタケシマランを観察することができます。また、樹齢400年を超えるブナは、平成11年の突風によって大きく枝を引き裂かれたにもかかわらず、今なお訪れる人々にその偉容を見せています。

ブナの実を手に取り、ブナの水脈を聴き、そして「自然のダム」と称される由来となっている腐葉土のメカニズムを知る。ここは太古から脈々と受け継がれてきた自然の摂理を体感できます。www.shirakami.or.jp/~fujisato/



「守ろう！創ろう！楽しもう！」西鬼怒の川に親しむ会

栃木県河内町



河内町は宇都宮市から8kmの近さに位置しながら、豊かな農村の自然が残されています。しかしながら、宅地開発などの影響で昔ながらの農村の風景は失われつつあります。西鬼怒の川に親しむ会は、農村の自然と伝統を守るために設立されました。地域住民、企業、行政が一体となって地域の環境改善活動に取り組んでいます。

ドジョウ水路の草刈りに汗を流したり、農村公園において都市住民を交えて田植えや稲刈りの農作業体験を企画したり、公園内の水路を使って灯籠流しをしたりと「守ろう！創ろう！楽しもう！」を合言葉に、幅広い活動を展開しています。楽しい活動がてんこ盛りです。（田んぼの学校、サツマイモ苗植付け、ドジョウ水路等の草刈、ホタル観察会、星空ウォッチング、灯籠流し、収穫祭、氷の観聴会、探鳥会、自然環境フォーラムほか）

そば道場「ふれあいの里いずみ亭」がオープン！

埼玉県児玉町

児玉町本泉地区に、児玉郡市地域では初めてのそば打ち体験施設「ふれあいの里いずみ亭」が4月21日にオープンしました。この施設は「新山村振興等農林漁業特別対策事業」により、地元産木材をふんだんに使い、周辺の景観にも配慮した切妻造りの瀟洒（しょうしゃ）な建物となっています。

この施設は、店舗とそば道場部分に分かれており、店舗では地元産のそばを使い、地域の方が腕によりをかけて美味しいそばの提供の他、地元で採れた四季折々の新鮮な農産物がいつでも購入できる直売コーナーが設けられています。

そば道場では、予約をすればそば打ち体験ができ、またそこで味わっていただくこともできます。

我はと思う方は、是非この機会にそば打ち体験にチャレンジしてみてください。お待ちしております。

<http://www.town.kodama.saitama.jp/sisetu/izumitei.html>



夏の風物詩～ひまわりが咲き誇ります

神奈川県座間市



座間市では、平成5年からJAの青壮年部が中心となって、荒廃地対策の一環として遊休農地を利用したひまわりの景観植栽を実施しています。平成12年には「ふれあい・やすらぎ」を感じさせる座間市の環境づくりを推進することを目的に、座間市ひまわり推進協議会（小林多賀雄会長、事務局：さがみ農協座間営農センター）が発足しました。今年も“ひまわり広場（総面積約5.3ha）”では、皆さんの熱い視線の中、ひまわりが青空に向かって黄金色の鮮やかな花を咲かせ、訪れる人を楽しませてくれることでしょう。

平成13年度に、市とひまわり推進協議会が小中学生を対象に、イメージキャラクターを募集したところ、355点の作品が寄せられ厳正な抽選の結果、渋谷彩郁（しずやあやか）さんの作品、『サン』が最優秀賞に選ばれました。

『サン』は、水に恵まれた座間市の特徴とかわいい河童の子どもをモチーフにして、頭のお皿がひまわりの形をしたかわいいキャラクターです。<http://www5c.biglobe.ne.jp/~za-hima/>

えごまで商品開発

長野県栄村

昔は村中どこの家でも栽培されていたえごまを復活し、加工品を作ろうと、平成15年に栄村で4つの会が発足しました。栄村特産加工センター利用組合員や子育てサークルの会員が主なメンバーです。

県内の奈川村、鬼無里村から取り寄せたえごまの種で栽培に挑戦し、他地域への視察や試作品づくり等の試行錯誤の末、栄おかしくらぶ6名のメンバーは4種類のえごまクッキー、えごまっ娘（6名）はえごまが入った団子、えごまグループ（8名）はえごまドレッシングと練り味噌をそれぞれ開発しました。これらは、村内の物産館や振興公社宿泊施設でそれぞれ販売され、売れ行きも好調です。



また、えごま栽培反省会を機に栽培経験者でえごま栽培研究会を結成し、からだにも大変よいとされるえごまのよさを村中の人に知ってもらおうと、さらに栽培を進めることになりました。日常の食卓にえごま料理が並び、えごまで心身ともに元気になるよう、えごまへの取り組みは始まったばかりです。

活躍しています「ゆりブランド部会」

福井県春江町



春江町の花「ゆり」をいろいろな形で皆さんに親しんでいただき、全国にアピールするために活躍しているボランティア団体に「ゆりブランド部会」があります。

この部会は、平成11年、12年度に町が住民の意見を町政に反映させようと町内の住民から公募された「100人委員会」が出发点となっており、現在10名の会員で活動しています。

活動の1つに、“父の日に「ゆり」の花プレゼント運動”があります。この運動は、家庭での主役「お父さん」に花の主役である「ゆり」をプレゼントし、父への感謝を表そうというものです。「家庭のコミュニケーションを図り、明るい家庭づくりを目指そう」というコンセプトから始まりました。父の日には、町内はもとより福井市においても町花のゆりの配布を行い、この事業

の街頭PRを展開しています。

その他にも、間伐材を利用し、ゆり植栽用のプランターを製作しました。すべて手作りであり、自然で温もりのあるものに仕上げ、町内の小学校や施設に寄贈しました。

これからも、町内は勿論、県内外の方々にも「ゆりのまち はるえ」を知っていただけるよう活躍していきます。

美濃和紙あかりアート展

岐阜県美濃市

1300年の伝統を持つ美濃和紙の集散地として栄えた美濃市。その繁栄の名残をとどめるうだつの上がる町並みに多くの観光客の方が訪れています。

江戸時代にたびたび大火に見舞われた豪商の家では、類焼を食い止めるために隣家との境の防火壁としてうだつを上げました。防火のためのうだつは、いつしか富と権勢を誇る象徴となり、さまざまな装飾が施されるようになったようです。

美濃市のうだつの上がる町並みは規模も保存状態も群を抜いており、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。電線類の地中化工事も全て完了し、江戸情緒あふれる町並みがよみがえりました。

その町並で毎年繰り広げられる「美濃和紙あかりアート展」は、第6回ふるさとイベント大賞を受賞し、全国はもとより世界各国から800点近い作品が出品され、美濃和紙をアピールするための一大イベントとなっています。うだつの上がる町並みが美濃和紙を通した温もりのあるあかりに満たされて、大変幻想的に浮かび上がります。

<http://www.minokanko.com/4akari/art.htm>



創作太鼓「紀宝楽」

三重県紀宝町



1995年5月「紀宝町の新たな伝統芸能の創造」を目的として町が和太鼓メンバーを募集し、タイヤを打つ練習からはじめ、翌年1月にチーム「創作太鼓 紀宝楽」として発足しました。

今年で8年目を迎え、10代から50代までの会員が週3回の練習のほか、地域のイベントや学校公演、福祉施設慰問等に積極的に参加して技術の向上に励んでいます。また、地元の子ども太鼓「ほたる夢太鼓」の育成にも当たっています。

指導・作曲共に舞人の「伊瑛谷門取」が担当しており、レパートリーの全てが型にはまらない自由奔放なスタイルが反映された曲で、そのダイナミックなステージと明るい“ノリ”はチームカラーとして多くの支持を得ています。

伊吹ゆり園

滋賀県伊吹町

伊吹町曲谷地区に一昨年、色とりどりのユリが咲き乱れる「伊吹ゆり園」がオープンしました。運営は地元曲谷区民が自ら行い、平日はお年寄りがユリを管理し、土日は地域全体で管理しています。同町の姉川ダム建設の残土処分地で同地区に約3haの平地ができ、そこを地域の活性化策を模索していた同地区が活用し出したのがきっかけです。試験栽培を経て、一昨年開園となりました。約1haの園内では15種類約7万本のユリが咲き誇り、ユリ独特の香りを楽しめます。

また、ユリや特産品の販売なども行われています。近くには「五色の滝」までの散策道や「奥伊吹ふるさと伝承館」などの見所もあります。自然豊かな農村部の雰囲気是非味わいに来てください。

<http://www.town.ibuki.shiga.jp/>



地産地消「旬菜市」が好評！

兵庫県龍野市



龍野市の生活研究グループ代表・内山保子さんが取り組む産地直送方式の「旬菜市」が地元で好評を得ています。これは、消費者のニーズに対応した安全でおいしい地元野菜の栽培や手作りの加工品を手頃な値段で販売し、地域のコミュニティづくりとして「地産地消」に取り組んでいるものです。

開催日は、龍野観光駐車場と産業振興センターが毎週土曜日、ダイエー龍野店とそうめんの里が毎週日曜日、総合隣保館が毎月1日・10日・20日です。また、第3日曜日にはうすくち醤油資料館前で龍野まちづくりふれあい市を開催しています。

今後も市内の各種イベントにも積極的に出展し、グループの輪を広め、仲間づくりによる健康で住みよい農村地域づくりを推進していきます。

- お問い合わせ先：兵庫県龍野市農政課 TEL:0791-64-3157

戸河内町の楽しみ方

広島県戸河内町

山歩きに最適な新緑の季節がやってきました！西中国山地国定公園の一角を抱える戸河内町には、国の特別名勝三段峡や広島県の最高峰恐羅漢（おそらかん）山、草原に覆われた深入山（しんにゆうざん）などいくつもの名峰、名峡があります。これらのフィールドを楽しむために「戸河内の遊びブック」を作成しました。単なるガイドブックではなく、トレッキングに必要な装備や危険な動植物、登山家の監修付きワンポイント・アドバイスや図解での草花、きのこの観察講座などが手書きのイラストや写真でわかりやすく紹介されています。

なかでも溪流釣りや草木染め、椀餅作り、地元の達人紹介のページは山歩きはしないけど...という方にも楽しめますよ！役場産業観光課、戸河内町観光協会などで販売中です。（1冊300円）この「戸河内野遊びブック」を片手に新緑の戸河内町へ是非おこしください。

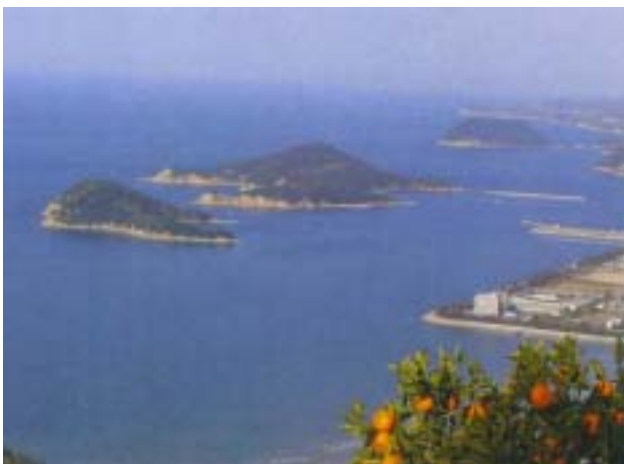
<http://www.town.togouchi.hiroshima.jp>

- お問い合わせ先：戸河内町産業観光課 TEL:0826-28-2111
または、戸河内町観光協会 TEL:0826-28-1800



時間も止まる癒しの島「つたじまと青い海」

香川県仁尾町



大鷲島と小鷲島の大小二つの島からなる「つたじま」は自然200%。特に3方のどの岬を越えても、眼下にとびこむ「つたじまと青い海」には、誰もがきっと目を奪われることでしょう。

大鷲島には神楽石・笑い岩・烏帽子岩・天狗岩など、奇巖石がいっぱいあり、それを見るだけでも楽しめます。夏は海水浴、キャンプ、磯釣り。春から秋のシーズンはマリンスポーツに輝く砂浜で恋人とロマンチックな一時を。また、ワイワイ・ガヤガヤ家族や友達同士で島中をウォーキングするもよし。そこには胸躍るアドベンチャーな世界があるかもしれません。また観光協会による、各種イベントも開催されますので、是非とも一度ご参加ください。

海を隔てた島に立ち、水平線を眺めていると、瞬間がゆっ

たり流れます。そっと手のひらに海をすくえば、心が癒され、元気が燃え出すこと間違いのないでしょう。

また、あなたに、青空が味方をしてくれると、これまた最高！そうそう、無人島ということは、食べ物・飲み物も自分で確保してください。

「つたじま」は宝島。両手を広げて、あなたをそっと包んでくれます。待ってま〜す。

<http://www.town.nio.kagawa.jp/>

四万十の輝きとなつかしさのまち

高知県中村市

中村市は今から約530年ほど前、応仁の乱をのがれて京から下向した前関白一条教房公が、京を偲び街づくりを行ったところです。町並みも京に模して碁盤目状に造られ、祇園、京町、鴨川、東山などの地名が残り、大文字の送り火が今に伝わっており、土佐の小京都と呼ばれています。

また、最後の清流といわれる四万十川を中心に四季折々の里山文化が生まれ、山・川・海とそれぞれの自然がそのまま残っている町でもあります。

自然体験においては、四万十カヌーとキャンプの里「かわらっこ」でのカヌー体験や、四万十川に生息している魚や世界に生息しているトンボなどを紹介している

「四万十川学遊館（トンボ自然公園内）」での生態系観察、春には香山寺世界の藤の里での藤やツツジを愛でながらの山あいの散策、「安並水車の里」での長閑な田園風景の中のアじさい散策、疲れた身体をリフレッシュする温泉施設「四万十いやしの里」等自然と一体化した様々な体験ゾーンが充実しています。

ふと立ち止まればどこかで見たような...懐かしい風景に出会える町、中村市へ是非お越しください。

<http://www.city.nakamura.kochi.jp/>



れんげ・菜の花が彩る遠賀の春

福岡県遠賀町



遠賀町内の生産組合（農事組合）の呼びかけで、平成15年秋より「ファームガーデニング事業」に取り組んでいます。刈り取りを終わった水田にれんげ・菜の花を植えて「開花展示」を行うものです。春の水田といえば転作の麦の「緑」が鮮やかですが、これにれんげの「ピンク」、菜の花の「黄」が加わり遠賀町の春を彩ります。

れんげに関しては「ファームガーデニング事業」に先行して「レンゲファーム事業」にも取り組んでいます。春にきれいなピンク色の花を咲かせるれんげは町内各地の水田で見ることができます。菜の花に関しても「ふるさと・水と土保全事業」に取り組んでいて、遠賀町北西部を走る県道沿いに植えられ「菜の花ロード」と呼ばれ親しまれています。これまでも雑誌に取り上げられたり、近くの幼稚園児・保育園児が遠足に訪れるなど町の内外から訪れる人々を魅了しています。

れんげ・菜の花は開花展示後、水田に鋤き込み「緑肥」となり地力増進に貢献しますが、「売れる米づくり」の一環として、遠賀町産米のイメージ向上並びにブランド化を図り、米政策大綱の改正に伴って厳しくなる産地間の競争に生き残りをかける狙いもあります。見て楽しむ食べて楽しむ作ってよるこばれる「れんげ・菜の花米」づくりが目標です。

吉野ヶ里遊学館は町への入口

佐賀県神埼町

神埼町は古代から常に人が住み、常に人の往来があった場所です。

弥生時代、大陸から海を渡って来た人々が、南九州や中九州を通過して有明海の奥の北部九州のこの地に定住することを決めたのは、温暖で稲作に適した広大な扇状地とその中を流れる豊かな水の流れがあったからです。

吉野ヶ里遺跡のある神埼町は至る所で歴史を感じる町です。弥生時代から奈良時代になると古代官道が通り、平安時代から鎌倉時代が終わる頃までは中央直轄の地となり、江戸時代は長崎街道が通り、藩にとっては重要な宿場がつくられます。

神埼駅北口前にある「吉野ヶ里遊学館」は、観光案内所として神埼そうめんなどの特産品の販売所として、花や野菜を作る町の人々の朝市の場所として活用されています。

更に周りに残る水田を利用、春は菜の花、秋はコスモスの種を蒔き、季節のイベントの中心地にもなっています。

東に目を向けると吉野ヶ里歴史公園、北に向かうと脊振の山並につながる景勝地への出発点「吉野ヶ里遊学館」は自然と歴史が響きあう神埼町への入口です。



ふれあい大牟田農産加工センター

宮崎県高崎町



高崎町で生産された農産物に付加価値を付けて販売しようと元気な女性達のグループが加工品の開発をはじめたのを契機に、農産加工室、加工体験室、学習室、ホール展示販売室を完備した「ふれあい大牟田農産加工センター」が、町によって整備されました。

農産加工研究グループのメンバーが、試行錯誤を繰り返しながら、お互いの知恵と経験を生かして完成させた味噌、漬物、ドレッシング、惣菜、菓子、そば、こんにゃく、甘酒、からいもあめ、昔なつかしいあくまきなどの加工品が所狭しと並び、朝取れの新鮮な低農薬・有機野

菜、しいたけやその他特産品も販売しています。

このほか、ウィナー作りなどの加工体験もできるなど、農産物の出荷だけでなく積極的に特産品を生かし、町の活性化につなげていく活動拠点となっています。皆さん、是非「ふれあい大牟田農産加工センター」にお越しください。<http://www.town.takazaki.miyazaki.jp/>

わがまちの旨いもん

このコーナーでは、地域の特産物や名物料理など「食」に関する情報を紹介いたします。

なつかしい味「浅めし食堂」

青森県青森市

温泉街として有名な浅虫地区に「浅めし食堂」というユニークな名前の食堂がオープンしました。この食堂は、民間非営利団体（NPO）「活き粋（いきいき）あさむし」が、平成15年10月にオープンさせたものです。

「活き粋あさむし」は、一人ひとりが幸せを実感できる生活と環境をつくる「健康なまちづくり」のためにさまざまな活動をおこなっている団体で、この活動の一環として食堂をオープンさせました。地元の伝統料理を提供するだけでなく、「食」を通じた地域住民のコミュニケーションの場として多くの人に利用されています。

同団体は、地域の畑や田を借りて無農薬の野菜や低農薬の米を作っており、その新鮮で安全な食材を使った家庭料理を中心に、メニューは日替わり定食と「じゃがいも水団（すいとん）」定食の2種類です。煮たじゃがいもに片栗粉を加えて作る「じゃがいも水団」は、地元に昔から伝わる家庭の味で栄養もたっぷりです。店内は懐かしくて温かい「手作りの味」と「店の雰囲気」を味わおうと訪れる地元の人々でにぎわっています。

地元以外の方にも是非味わってほしい家庭の味は、ホームページでレシピも紹介しています。

- お問い合わせ先：活き粋あさむし TEL:017-737-5070 <http://www.ikiiki-asamushi.net/>



玄米とエゴマ（じゅうねん）のクッキー 体に村に元気呼ぶ

福島県白沢村



白沢村では、食べると10年長生きすると言われていたことから、エゴマを「じゅうねん」と呼んでおり、昔から各農家で自家用として栽培が盛んでした。しかし、昭和30年ごろをピークとして栽培面積、生産農家とも減少してきましたが、近年の健康食材への関心の高まりを反映してエゴマが見直され、現在、約1haで栽培されています。このエゴマを使って村の特産品を開発しようと、白沢村生活研究グループ連絡協議会（会長：渡辺茂子、会員：50人）が平成13年から取り組み、まず平成14年には「じゅうねん飴」を完成し、平成15年11月には「プチプチ玄米クッキー」を売り出しました。このクッキーは玄米のサクサクした食感とエゴマのプチプチした歯

ざわり、甘さを抑えた素朴な味わいが好評で、1袋90g（8～9枚）入り200円で村の直売所等で販売されています。発売以来約2,000袋を売り上げ、これからは村内の小売店でも販売し、大型スーパー等との差別化を図り、村内にお客さんをお呼び込みたいと考えています。<http://www.vill.shirasawa.fukushima.jp/>

おばあちゃんらの手作り漬物（農々工房）

三重県宮川村

私たちは食糧飢饉の世から飽食の今を生きており、食料の尊さも食生活が健康の源であることも意識しています。

無農薬・無化学肥料による農業に戻して15年になります。簡単に施肥できる化学肥料は土壌が少しずつ酸化し、病害虫の防除に苦勞し、安易に農薬を使えば皮膚に炎症を起こす怖さといった体験から切り替えた野菜づくりです。消費者の方も食には関心が高まり「安心して食べられる野菜ですよ。」と村の朝市でのお客様との会話も弾みます。

その安全野菜を原料に「農々工房」を立ち上げ、漬物加工に励んでいます。生産加工販売と老いてからの起業で四苦八苦しながらも、頼れる指導者と協力してくれる家族に恵まれ、苦勞は何時しか生き甲斐となっています。

主力のかす漬けは調味料も厳選し、3回漬け込み作業を繰り返します。漬け上がると美しいベッコウ色をし、有機栽培の結果、食感も良く、深い味わいがあります。その他、菜物の浅漬けなど試行錯誤を繰り返し、多くの皆様に意見をいただき商品化しています。

まだ、店頭に並び始め間もない私たちの商品ですが、見かけたらよろしくお願ひします。

<http://www.vill.miyagawa.mie.jp/>



忍者の手裏剣をイメージした「黒影おこわ」

滋賀県甲南町



甲賀流忍術発祥の地として有名な甲南町は、滋賀県南東部の自然豊かな町です。この地方の重粘土質の土地は良質のお米の栽培に適し、古くからこの地方のお米は美味しいと言われてきました。

このたび、甲南町商工会の「くのいち本舗おこわグループ」が、地元で栽培された古代米「黒影米」（紫黒米）を使った特産品開発に取り組み、手裏剣をイメージし三角形の竹皮に包まれた「黒影おこわ」を完成しました。

濃い紫色のおこわの中に地元産の南瓜と鶏肉が入っており、大変ボリュームがあり美味しいと好評を得ています。この「黒影米」はアントシアニンやポリフェノール等多く含み滋養豊かなお米です。

「黒影おこわ」は冷凍保存ができますので地方発送も行っています。忍者の里から生まれたおこわを是非ご賞味ください。

- お問い合わせ くの一ち本舗 滋賀県甲賀郡甲南町葛木1367番地5
TEL:0748-86-6473 FAX:0748-86-5818

上月町特産「もち大豆」

兵庫県上月町

兵庫県の最西部に位置する上月町は中山間地域の農山村であり、古くから「みそ」の自家加工が継承されてきました。そのため原料となる大豆への関心は高いものがあり、町としても新品種の開発に取り組みました。そうして誕生したのが「もち大豆」です。普通の大豆よりも「もちもち」とした歯ごたえが特徴で、味、栄養価、加工への適性などさまざまな点において検討した結果、導入されることとなりました。

加工工場や加工品販売所が整備されるとともに、平成9年には「(有)ふれあいの里上月」が設立され、知識や経験が豊かな地元の婦人たちが社員となり、地域に根付いた活動が行われています。

今では上月町の特産物として定着し、加工品も「もち大豆みそ」だけでなく、豆腐や納豆、おからコロッケなど新商品の開発にも次々と取り組まれています。普通の大豆とはひと味もふた味も違う「もち大豆」を是非一度ご賞味あれ。

- お問い合わせ 有限会社ふれあいの里上月 TEL:0790-87-0008 <http://www.town.kozuki.hyogo.jp/>



愛情たっぷり・ミルクジャムとミルクプリン

広島県湯来町



広島県佐伯郡湯来町には、牛乳工場・(株)砂谷(さごたに)があります。砂谷牛乳は85℃で20分間のパスチャライズ(保持殺菌)で作られており、風味とこくのあるおいしい牛乳です。その工場敷地内にあるスペースで、砂谷牛乳を使って作られているのが、みるく工房のミルクジャムとミルクプリンです。

ミルクジャムは牛乳、グラニュー糖ときび砂糖以外は何も加えず、鍋でコトコト、コトコト煮詰めて作られたジャムです。そして、そのミルクジャムを牛乳で薄めて、寒天でかためて作ったものがミルクプリンで、まったくのオリジナルプリン! プレーン、ココア、紅茶、抹茶、マロンの5つの味を楽しむことができます。(季節限定・イチゴとかぼちゃも有り)

使っている材料は、空口さんと高橋さんが実際に作って、食べてみて納得したものだけを使っています。余計なものは何も加えていないこだわりの材料を使って、愛情と手間隙かけて作られたジャムとプリン。小さな子どもさんから高齢者、病気がちな方まで安心して食べていただけます。

ミルクジャム 140g入り600円 50g入り200円
(バニラビーンズ入りも有り)

ミルクプリン1個 200円(プレーンのみ180円) 愛情たっぷり、ママの味をご賞味ください。

九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道に乗って美味しいもの三昧!

熊本県八代市

九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道の開業を機に八代名物が続々登場します。

八代は球磨川と八代海に囲まれた自然素材の宝庫です。急流球磨川では、今でも30cmを超える尺鮎と呼ばれる天然鮎が獲れます。その天然鮎で作った焼鮎でダシをとり、炊き込みご飯や煮物・だし巻きと鮎の甘露煮が丸ごと一匹!の鮎三味の駅弁『鮎屋三代』(写真左)。また、八代海で獲れる天然の鱧を使った『はも重』(写真右)。実は八代の鱧はほとんどが京都の高級料亭に卸され、幻とさえ言われています。その鱧を伝統の味と技を惜しげもなく弁当箱の中に封じ込めた逸品です。両方とも1,050円で、新八代駅・八代駅の売店にて購入可能です。



ゆっくりお座敷という方には、「あゆ御膳 はも御膳」の幟旗のある八代料理店組合の加盟店舗で、ランチメニュー1,050円より味わうことができます。

とことん八代の素材のこだわった八代の旨いもんを味わったら、是非とも列車の窓越しに見る風景を楽しんだり、球磨川河川敷を散策したりと、のんびり旅を満喫してください。

● お問い合わせ：八代料理店組合(割烹ひさご内) TEL:0965-32-3982

鯉料理

宮崎県小林市

小林市出の山公園は、鯉料理専門店が建ち並んでいます。鯉というのは泥臭いイメージがありますが、出の山(いでのみやま)の鯉は泥臭くなく、身が引き締まっておりとても美味しくいただけます。その訳は、料理前に流水の中で2週間かけて清ジメしていき、この間は餌も与えず、水のうまさのみを与えることで鯉本来のうまさを高めていくからです。

また、出の山は日本の「名水百選」に選ばれており、その湧水で育った鯉を調理します。調理例は一般に鯉のライ、鯉こく、鯉のあんかけなどです。鯉は古来から薬用魚と呼ばれ食用に適していることから、多くの国で養殖されてきました。ビタミンB1を多く含み、タンパク質、脂質、カルシウム、鉄と栄養も豊富で、昔から心臓や呼吸器の病気の特效薬とされたほか、産後の肥立ちの栄養食としても重宝されました。出の山の鯉は地元は勿論、県外からの注文もあります。

このほか、出の山では世界三大珍味のキャビアの生みの親「チョウザメ」を取り扱っている料理店もいくつかあり、滅多に味わうことのできないチョウザメ料理を食べることができます。<http://www5.ocn.ne.jp/~k-cosmos/>

このコーナーでは、農村で活躍している女性(グループ)の取り組みについて紹介いたします。

地元野菜でヘルシーせんべい作り～安土町生活改善グループ～

滋賀県安土町

滋賀県のほぼ真中に位置する安土町に、元気な女性グループがあります。彼女たちの名前は「安土町生活改善グループ」。地元で獲れた旬の野菜を活かして何かできないかと、平成8年からヘルシーな野菜せんべいを加工・販売しています。

民家を一軒借りきった作業場で作られるお菓子は、カボチャやタマネギ、ニンジン、サツマイモなど様々な味のバリエーションのある「まるごと彩菜」と、町の特産黒大豆を原料に使ったかきもち「まるごとつくつく」です。

平成9年と14年には優良ふるさと食品の表彰も受けています。見た目も味もまったく違う二つのお菓子の共通点は、彼女たちの真心がこもっていることです。一つ一つ手づくりで丁寧に焼き上げられたせんべいは、一口食べると自然の香りとやさしさが口中に広がります。

部長を務める嶋川千代子さんは「安土の味を少しでも多くの人に知っていただければうれしいですね」と笑顔で話してくれました。



地元野菜・果物の加工グループ「ぐりーんぐらす」

兵庫県明石市



「刈られても踏まれてもぐんぐん伸び続ける雑草のように！」と名付けられた加工グループ「ぐりーんぐらす」。メンバーは2名が農家、3名がパート勤めをしながら家庭菜園をする元気な女性ばかりの5人組です。

スタート当初、農業改良普及センターや保健所とも相談しながら、地元の野菜や果実を使った「焼肉のたれ」「キムチ」「マーマレード」などを開発、農協の直売所で販売してきました。無我夢中で取り組み、イベントにも積極的に参加し、地道ではありますが着実に売り上げを伸ばしてきました。

最近、自分達が子供の頃親に作ってもらっていた、素朴で安心・安全なおやつを地元の皆さんに食べてもらいたいという思いから、地元産のもち米を利用した「おはぎ」「のしもち」、野菜・果実をふんだんに使った

「ケーキ」などを販売しました。「手作り感があっておいしい」「安心できる」など、若者から高齢者まで好評を得ています。

できるだけ地元産にこだわった材料で、自信を持って提供できる商品をつくろうと、時にはケンカをしながらも意見をぶつけ合い取り組んでいる姿はまぶしいばかりです。「これからも地元産の野菜・果物を使って四季折々の加工品を開発し、直売所をもっと盛り上げ、地域の農業の活性化につなげたい」と意気込むメンバー5人はみんな明るく頼もしい限りです。

地域農産物を活かして 新たな加工品づくりに挑戦！

福岡県ふくおか嘉穂農業協同組合

筑豊地域は福岡県の中央部に位置し、山や川などの自然環境に恵まれた地域です。以前は炭坑産業で賑わいを見せていましたが、現在は自動車などの新たな産業や農業が主要な産業となっています。

当地域には38か所の直売所が設置され、地域で採れた新鮮・安全な農畜産物の販売や消費者とのふれあいの場として賑わっています。各直売所には、それぞれの加工グループが地域農産物を使った加工品を販売し、消費者から大変喜ばれています。

昨年度は、筑豊地域の活性化対策の一環として、9つの加工グループが地元の農産物を活用した新たな加工品づくりにチャレンジし、たくさんの加工品が生まれました。中でも、地元特産にんじんを使った「野菜パイ」、「トマトジャム」、「なし入りミニケーキ」、「黒大豆豆腐」、「玄米せんべい」等、各地域の特産物を活用したバラエティーに富んだ加工品が誕生しました。これらの新製品は、3月に開催した「筑豊農業・農村活性化フォーラム」の会場でお披露目を行い、来場者からは大好評でした。これらの商品は、直売所において販売されていますが、加工グループの活動が今後の直売所や地域の活性化につながることを大いに期待しています。



このコーナーでは、都市農村交流など地域間交流活動について紹介いたします。

風車とローズマリーの里市民農園

千葉県丸山町

丸山町では、「風車とローズマリーの里」を合言葉に町づくりをすすめています。のどかな田園風景のなかでかろやかに回る白い風車、あたり一面に広がる薄紫色の花を咲かせるローズマリーといった景観整備を行っています。

海からの、森からの風が出会うまち、歴史と自然に囲まれた夢を感じる丸山町。そんな中誕生したのが「ローズマリー公園」です。公園は大きく三つに分かれます。一つは、リバーサイドプラザ、シェイクスピア・カントリー・パーク、そしてローズマリー・ガーデンです。公園の一番新しい施設「丸山町交流・体験センター」では田舎の楽しさ、豊かさを体験してもらおうと季節の食体験やハーブを使ったクラフト教室などを開催しています。

また、国の構造改革特区計画により安房自然学校特区の認定を受けた丸山町は、「風車とローズマリーの里市民農園」を開設し利用者の募集をしています。遊休農地を貸し出し、花や野菜を栽培できる環境を整え、都市のみなさんと農業を通じての交流を展開しています。kikaku@town.maruyama.chiba

丸山千枚田オーナー制度

三重県紀和町

紀和町「丸山千枚田」では、1,340枚まで復元した棚田で平成8年からオーナー制度を実施し、毎年約100組のオーナーを募集しています。オーナーは家族、グループ、学校、会社の仲間など様々です。利用の幅を広げようと平成16年から企業の研修の場としての提供を模索しています。

農耕文化の遺産としての維持保全や生きる上での“食”「米」を生産する現場での作業など、ボランティア精神や環境問題への意識を高める最適な場となるでしょう。紀和町では、丸山千枚田を観光における拠点として位置付け、さらなる知名度アップに向け取り組んでいきます。

紀和町丸山千枚田では、丸山千枚田保存会と役場が中心となり、地域と協力しながら保全活動を行っています。

また、近くには熊野古道（風伝峠）や入鹿温泉、紀和の足湯など観光スポットがあります。

<http://www.town.kiwa.mie.jp/>



Let's 農業

このコーナーでは、農業を始めてみたいと思っている方へ向けての市町村等からの情報等を紹介しております。

平成16年度「東金・市民農園」利用者募集

千葉県東金市

地元のお百姓さんの指導を受けながら農業体験ができる「東金・市民農園」の利用者を募集します。

安心で新鮮な野菜を自分で作りたい、そして作るならばスーパーで売っている野菜に負けないものを作りたい、そんな皆さんを対象に、市内のお百姓さんが野菜の作り方を親切・丁寧に教えてくれる「市民農園」が今年4月から市内に3ヶ所オープンしました。

農業は最小限に抑え、堆肥などの有機肥料を使い、1区画約10坪の畑から収穫される農作物は「背負籠」にいっぱい。新鮮な野菜をご家族でお楽しみください。

● お問い合わせ：

東金農業いきいきプラン実行委員会事務局（東金市役所農政課内）まで、以下のいずれかの方法で「代表者の氏名・住所・電話番号」をご連絡ください。後ほど申込書及び資料をお送りします。

TEL:0475-50-1137 FAX:0475-50-1297 E-mail:nosei@city.togane.chiba.jp

郵送：〒283-8511 千葉県東金市東岩崎1-1

このコーナーでは、地域の特産物等が身近で購入できるアンテナショップやテナントの情報を紹介いたします。

旬の里ねぎぼうずオープン！

千葉県茂原市

茂原市法目地先(本納地区・国道128号バイパス沿い)に地産地消の拠点として、農産物直売所「旬の里ねぎぼうず」が3月6日にオープンしました。運営は地元農業者による組合が行っており、組合員138名でのスタートとなりました。

新鮮で安全な農産物を地元消費者に供給すると同時に、「農」を通じて生産者と消費者が交流する場づくりとして、茂原市が地域農業の振興策として施設整備を行いスタートしたものです。

3月6・7日のオープンイベントには、両日千人を超えるお客さんで賑わい、3月の売り上げも予想を上回る盛況なスタートとなりました。トマト・イチゴ・キュウリ・ホウレン草・キャベツそして茂原の特産ネギ等の新鮮野菜に加え、太巻き寿司、ご飯類、餅、ケーキ等の加工品もたくさん用意しています。

屋外には、色添えの花苗と植木の販売を行っており、規模は小さいですが、来て見るだけでも心温まる直売所です。是非お立ち寄り下さい。

- お問い合わせ(旬の里ねぎぼうず) TEL:0475-34-4800 <http://www.city.mobara.chiba.jp>



秋川ファーマーズセンター

東京都あきる野市



「秋川ファーマーズセンター」は、多摩東京移管100周年記念事業の一環として、TAMAらいふ21協会と旧秋川市(現在のあきる野市)が建設し、秋川農業協同組合(JAあきがわ)が運営しています。農業を通して生産者と消費者の交流を促進していくための施設であり、平成5年8月にオープンしています。農畜産物の直売コーナー、秋川物産コーナーを中心にバーベキューや軽食も楽しめます。また、研修室、シャワー室を備えた市民農園利用者施設等もあります。

農畜産物の直売コーナーでは、生産者の顔が見える安心で安全な新鮮な野菜やタマゴをはじめ、植木、盆栽、草花等の販売を通じて、農業者と市民との密接な交流を目指しており、市内のみならず周辺地域からも多数来

客しています。

本施設には市民農園が併設されており、利用者には土と親しみ、農作業を体験することで農業や農地の大切さ、重要性を理解してもらいたいと考えています。<http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm>

- 営業時間：9:00~17:00(定休日なし。ただし年末年始は休み) TEL:042-559-1600

食彩館しょうばら ゆめさくら

広島県庄原市

“元気のでるみんなの市場”をテーマに平成14年4月にオープンした『食彩館しょうばら ゆめさくら』は、今年の2月に来客者数50万人を達成し、庄原の新しい観光スポットとして注目を集めています。

「朝どり市」：地元の農家が丹精こめて育てた新鮮な野菜や花、加工品などが人気を集めています。

「特産店・ミート工房」：地元の銘菓・特産品やその場で精米できるお米、地元産の牛肉や豚肉、加工品を販売しています。

「ミルクファームHARU」：種類豊富なアイス・ソフトクリームに加え、バターやチーズなども販売しています。

「米麦工房21めぐみ」：地元産の小麦・牛乳・卵を使用したパンやケーキを販売しています。

「お食事処 花ほぼろ」：地元産のそば粉をその場で打ったそばをはじめ、和洋揃えたモーニングも人気です。

『食彩館しょうばら ゆめさくら』で、楽しいひと時をお過ごしください。

- 所在地：広島県庄原市新庄町291-1(かんぼの郷庄原のそば) 定休日：毎週火曜日 TEL:0824-75-4411 <http://www10.ocn.ne.jp/~yumesaku/index.html>



筑前あしや「海の駅」

福岡県芦屋町

歴史と文化のまち筑前あしやに漁業組合経営で魚介類専門のレストラン、海産物販売コーナー等のある「海の駅」です。日本海でとれた「あしやんいか」をはじめ、アワビ・サザエ・タイ・ヒラメ等を大型いけす4基に活かし、その新鮮な魚介類をお好みに応じ目の前で調理しお客様に提供しています。地方発送も承っております。

また、レストランから見る海の眺望の良さ、夕陽は抜群です。

タイ・アジ・サバ等の活き作り、アワビ・サザエ・イカ・エビの海鮮焼、てんぷら等、皆様是非一度日本海の荒波で育った魚介類をご賞味下さい。<http://www.ashikan.jp/>

わがまちのユニーク施策

このコーナーでは、全国の市町村において、独自に取り組んでいる施策等を紹介しています。

Let's go 囲碁

神奈川県平塚市

平塚には現代囲碁の基礎を築いた木谷實九段が住み、自宅を木谷道場として開放し、多くの棋士を育てました。こうしたことから、平塚市では木谷實九段や多くの弟子達の功績を讃え、囲碁を平塚の特色ある文化として普及するため、財団法人平塚市文化財団に委託し様々なイベントを開催しています。

中でも毎年10月に、駅前商店街の通路に500面の碁盤を並べ、開催される「湘南ひらつか囲碁まつり500面打大会」は、年々規模を拡大し、北は北海道から南は九州まで全国から毎年多数の参加があり、囲碁愛好者と日本でも著名なプロ棋士(約70人程度)との対局、指導が催されます。大会後には棋士との交流会を行い、市民交流を促進し、囲碁愛好者との親睦を図っています。

また、最近では囲碁に関心を持つ子供達も増えてきており、市内小・中学校に碁盤・碁石を配布したり、市内各地区公民館での囲碁教室も数多く行われています。さらに、囲碁を覚えた子供が春と秋の年2回行う級位認定大会に参加し、棋力を上達させ、かつ、お年寄りとの世代間の交流を深めています。今後も、本市の最大のお祭りである七夕まつりと同様、様々な取り組みを行い、全国から注目される囲碁のまちを目指します。

www.hiratsuka-bunka.or.jp/index.html/syounanigo.html



特区制度を活用した新たな地域活性化策への取組

新潟県東頸城郡



日本有数の豪雪・地すべり地帯の新潟県東頸城は、従来から生活基盤を農業と公共事業に依存してきた地域です。過疎化・高齢化が急速に進むなか構造改革特区制度を活用した新たな地域振興の取り組みが始まっています。

雪国という自然環境や天水田から生産される米とブナ林から湧水する良質な水、そして頸城杜氏に代表される酒造りの技術など、地域の資源を有効に活用した「どぶろく」の製造と販売をしています。また、地域の廃校や古民家を活用した農家民宿の開業促進の取り組みとタニシやイワナなどの内水面漁業を活用した食品産業などがスタートしました。

これらの新たな取り組みは、家族や大人をターゲットにした長期滞在型の「ふるさと観光」を育成して地域への誘客の増大を図る地域活性化策です。東頸城の新たな魅力となった「どぶろく」は、昨年11月に特区の認定を受けた後、本年2月に酒類製造免許を取得し、新潟県醸造試験場の指導を受けて3月から製造と販売を開始しました。

棚田やブナ林などの自然環境が豊かで、「どぶろく」や「農家民宿」等の新たな魅力にあふれた田舎(新潟県東頸城)へ是非一度おいで下さい。「どぶろく」を楽しめる農家民宿は、安塚町民芸の宿「さわ」(TEL:025-593-2704)、松代町貸し民家「みらい」(TEL:025-597-2561)、牧村農家民宿「ほほえみ荘」(TEL:025-533-6588)です。予約の上お出かけ下さい。

特色ある地域づくり事業

岐阜県丹生川村

「特色ある地域づくり」では、住民が自分達の住む地域を今一度見つめ直し、目標や課題を探りながら住民の方々が中心となって考え、主体となって行うことで地域に愛着と誇りを持ち、特色ある地域づくりを行うことで地域を活性化することを目的としています。

平成13年度に行ったモデル地区では、旧家を中心とした農村風景と伝統・文化を持つ2つの集落がそれらの子孫に手渡すことを目的に、景観、自然等に関する10年間の活動計画を策定しました。平成14年度にはこの計画を基に、地域を代表する花“シャクヤク”を地元の沿道沿いに1,000株植栽し、シャクヤク街道づくりを目指しており、15年度も引き続きシャクヤクを植栽し、住民自らが描いた地域づくりの実現に向け、計画を実行しています。

モデル地区に続き、平成14年度には2地区、平成15年度にもさらに2地区がこの「特色ある地域づくり事業」に取り組んでおり、丹生川村は「行政主導の地域づくり」から地域の実情を踏まえた「住民主導の地域づくり」へとその主役が移り変わっています。



全国の大学生が米原町のまちづくり提案「米原町知の交流まちづくり研究補助事業」

滋賀県米原町



地域性あふれるまちづくりを実現するためには、住みよい地域を「築く」ための地元の取り組みはもちろんのこと、一方で地元の魅力に「気づく」存在である斬新な「外の風」も必要です。そこで、米原町のまちづくりを研究する学生等のみなさんに対し研究補助金を交付し、研究活動を応援する「米原町知の交流まちづくり研究補助事業」を創出しました（補助金額／米原町のまちづくりについての研究論文等1本に対し上限5万円を補助）。

米原町が「交通の要衝」という利点を活かし、県内に限らず近畿・北陸・東海地方の大学等へエリアを広げて応募を呼びかけたところ、京都、長野や群馬なども含めた全部で6人の大学生・大学院生がエントリーしました。それぞれの学生の専門領域である、運動公園の設計や、醒井の水を活かしたまちづくり、地域文化創造のための広報誌づくり、住民と行政の協働などをテーマに、地域住民との交流を軸にしたユニークなまちづくり研究が行われました。年度末には研究の成果を町民の前で発表する場が設けられ、町長も出席し学生たちと意見交換をおこなっています。米原町としても、学生の提案を町内自治会や各種グループのまちづくりと連携させるなど、町施策に反映させていきます。<http://www.maihara.com>

新しいコミュニティビジネスの模索

兵庫県加西市

市内の高校生がダンスイベントに地元の特産果樹を使った料理を販売しました。まちづくりワークショップを何回も行い、『自分達に何ができるか』という疑問の答えが、地元の果樹を使用したメニューの作成と販売でした。実際に高校生が自分達で、地元の朝市などで売られている特産イチゴを購入して、生産農家の連絡先を記載した名刺を商品とともに添えて販売しました。

高校生にとって発案から調理・販売までのプロセス全てが新しい経験でもあり、自発的なまちづくりの実践のための一つの表現方法が体験できたと思います。また、地元産の果樹を使用することにより、生産者側にとっても新たなコミュニティビジネスへの手がかりとなる実践的なワークショップでもありました。

この取り組みは市内の市民団体が発案し、ワークショップでは高校生が行政機関に訪れて担当者と数回にわたって協議するなど、民間、NPO、行政といった各部門に属する団体が連携することで成し得た事業でした。

<http://www.nehime-net.jp/net/doi/index.htm>, <http://www.nehime-net.jp/net/doi/2003/index.htm>



企画展「開明の道を編む七」（開明の道プロジェクト）

佐賀県佐賀市



日本が海外への門戸を閉ざしていた江戸時代、海外への唯一の窓口は長崎でした。その長崎と小倉を結ぶ長崎街道は、「物」を運ぶだけではなく、海の向こうから来た文化の通り道でもありました。佐賀を通る異国の文化は筑紫平野や有明海などの豊かな自然の素材と巡り合い、さらに佐賀の技とも融合し、新しい文化となったのです。

鍋島更紗、鍋島緞通、佐賀錦、肥前ビードロ...。佐賀が誇る伝統工芸品は、豊かな自然と異文化を受け入れる進取の気性に富む土壌から生まれたのです。

企画展「開明の道を編む」は、そんな地域の技、地の素材を再発見する催しであり、素材を生かした昔ながらの製法などを体験できます。例えば、「綿から糸を紡ぎ、染め、服を織る」。手間と労力はかかりますが、素材からの“お付き合い”は、私たちに「物の大切さ」を思い出させてくれます。

素材に触れ、遊び、そこから出発する。生活文化の再発見を始めてみませんか。

- 企画展「開明の道を編む七」は、佐賀市歴史民俗館にて6月26日（土）から7月4日まで開催されます。今回のテーマは、「島に残る暮らしの文化と島の女性たちの生涯」です。

イベント情報

平成16年4月から平成16年6月までの期間に全国各地で開催が予定されている様々なイベントを掲載しております。記事を読んで興味をもたれた方は、是非一度現地を訪れてみませんか。

湖水まつり

青森県上北町

青森県最大の湖である「小川原湖」を主会場として、2日間に亘りイベントを行います。1日目は宝さがし大会や演奏会等、夜は第3回目となる全国有名花火師による創作花火コンクールを行います。また、二日目は小川原湖地引き網大会、小川原湖宝さがし大会、ホバークラフト体験河川パトロール等、また期間中は、ポップコーンと風船のプレゼントやミニ水族館とパネル展、しじみ貝汁の無料試食会、物産まつりや露天まつり等を計画しています。

<http://www.kamikita.net.pref.aomori.jp/kanko.html>

- 開催日：7月24日（土）・25日（日）
- 開催場所：小川原湖公園
- お問い合わせ先：上北町商工観光課 TEL:0176-56-3111 内線151



第29回藤沢野焼祭

岩手県藤沢町



藤沢野焼祭は、昭和51年に第1回を開催して以来、藤沢町民が陶芸をこよなく愛する方々と共に文化の薫り高い町を目指して、情熱と不断の努力によって築き育て上げてきた、東北に、そして全国に誇る歴史を持つ文化行事です。この祭りは縄文時代の陶芸“野焼”を再現したもので、作品は自らの手で作り、自らの手で焼くといった参加者が自ら演出する祭で、参加作品は全国から集まり1,100点を超えます。野焼きの火は一晩中燃え続け、縄文踊り、太鼓の競演などのイベントが繰り広げられ、翌朝には幻想的な陶芸作品が生み出されます。

- 開催日：8月7日（土）・8日（日）
- 開催場所：藤沢町立藤沢中学校グラウンド「特設会場縄文村」
- お問い合わせ先：藤沢町野焼祭実行委員会 TEL:0191-63-5515

釜石よいさ

岩手県釜石市

夕暮れから歩行者天国になった会場には大勢の踊り手が集まり、賑やかな釜石よいさの輪ができます。参加する団体ごとに趣向を凝らした衣装や山車で「サーサ、ヨイヤッサー」の威勢のいい掛け声とともに、とんだりはねたりとエネルギーに乱舞する、躍動感あふれるお祭りです。

<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

- 開催日：8月7日（土）
- 開催場所：市内目抜き通り
- お問い合わせ先：釜石活性化事業実行委員会（釜石商工会議所） TEL:0193-22-2434



第81回石巻川開き祭り

宮城県石巻市



石巻川開き祭りは、17世紀の初めの大規模な北上川改修工事の功労者、川村孫兵衛重吉への謝恩感謝の祭りとして始められ今年で81回目を迎えます。北上川を舞台に繰り広げられる「孫兵衛船競漕」のほか、陸上では市民総参加の「大漁おどり」をはじめとして、みこしや小学生鼓笛隊などさまざまなパレードが繰り広げられます。そして祭りの目玉は東北でも有数の「豪華花火大会」です。水陸から打ち上げられる約2万発もの大輪の花が、夏の夜空と川面を美しく彩ります。

<http://ww51.et.tiki.ne.jp/~kawabiraki/>

- 開催日：7月31日（土）・8月1日（日）
- 開催場所：石巻市内中心部・北上川
- お問い合わせ先：石巻川開祭実行委員会 TEL:0225-22-0145（石巻商工会議所内）

おながわ秋刀魚収穫祭

宮城県女川町

おながわ秋刀魚収穫祭は、女川を代表とする「サンマ」をテーマとして、自然の恵みを楽しむことへの感謝と喜びを表しているお祭りです。会場内には秋刀魚の炭火焼き、秋刀魚すり身汁や秋刀魚つかみ取りのメインコーナーを始め、秋刀魚格安販売や各種催物など、ご家族・お友達連れの方々にも楽しんでいただけるよう盛りだくさんのイベントを用意して皆様のご来場をお待ちしております。「海と緑と魚の町おながわ」に足を運んで、秋の味覚を満喫してみてください。

<http://homepage.mac.com/onagawa/sanma/>

- 開催日：9月中旬
- 開催場所：女川魚市場特設会場
- お問い合わせ先：TEL:0225-54-3131 内線232



森吉山麓たなばた火まつり

秋田県森吉町



毎年8月7日に阿仁前田河川公園をメイン会場にして開催される祭りです。シンセサイザーをバックに2,000個のたいまつに火がとまり、森吉山の稜線をイメージした火文字が浮かび上がります。川面には赤々として光が投射され、幻想的なムードが醸しだされます。夜空をキャンパスに打ち上げ花火が彩り、川面には森吉山の標高にちなみ1,454個の流し灯ろう、スキーヤーを形どった花火などが仕掛けられています。圧巻はクライマックスの川幅に広がる145.4mの大ナイアガラの滝です。

<http://www.town.moriyoshi.akita.jp/tanabata.htm>

- 開催日：毎年8月7日
- 開催場所：阿仁前田河川公園
- お問い合わせ先：森吉山麓村興し会事務局
TEL:0186-75-3188

サンドクラフト2004 in八竜

秋田県八竜町

夏の太陽がサンサンと照りつける砂浜に創り出された砂像アート。夜はライトアップに花火の饗宴が加わり幻想ムードいっぱいです。見る人を魅了してやまない「サンドクラフト」は、日本の水浴場88選・釜谷浜海水浴場を会場に行われます。毎年50基ほどの砂像が展示され、年々レベルアップする作品は芸術モノです！併せて開催される八竜町特産メロンのイベントに、会場は熱気でいっぱいです。砂像は7月中旬から制作し、8月下旬まで展示していますので、是非お越しください。

<http://www.shirakami.or.jp/~hachiryu/>

- 開催日：7月31日(土)・8月1日(日)
- 開催場所：八竜町釜谷浜海水浴場
- お問い合わせ先：八竜町役場企画開発課
TEL:0185-85-4818



第29回ふるさと宮まつり

栃木県宇都宮市



宇都宮の夏の恒例となりました「ふるさと宮まつり」は、昭和51年、市制80周年を機に「であいとふれあい」をテーマに第1回を開催して以来、「市民参加型のまつり」として毎年実施され、今年で29回目を数えます。

毎年、8月の第1土・日に宇都宮のメインストリートである大通り(約1km間)を中心に繰り広げられる熱狂的なイベントで、2日間で延べ80基を越えるみこしの出場をはじめ、おはやし、パレード、郷土芸能、和太鼓、おどり、宮っ子よさこい、木遣りなどが登場します。

北関東最大級の市民のまつりは必見です。どうぞ家族そろってお出かけください。

- 開催日：8月7日(土)・8日(日) 予定
- 開催場所：宇都宮市大通り(本町交差点～上河原交差点)
- お問い合わせ先：ふるさと宮まつり開催委員会
TEL:028-633-8766

ちばの海体験スタンプラリー

千葉県

都市に住む方々に、房総の豊かな自然や海の産物を満喫していただくため「ちばの海体験スタンプラリー」を実施します。

スタンプラリーの進め方は、

- ①スタンプ帳に記載してある潮干狩り、地曳網、釣りに参加。
- ②スタンプ帳についている応募はがきに2箇所以上スタンプ集め。
- ③応募はがきを送付。

応募された方の中から抽選で30名さまに“海の幸”をプレゼントします。

【スタンプ帳配布場所】対象イベント会場、県庁水産課、その他 <http://www.agri.pref.chiba.jp/>

- 開催日：平成16年5月24日～11月30日
- 開催場所：対象の潮干狩り、地曳網、釣り
- お問い合わせ先：千葉県農林水産部水産局水産課振興室 TEL:043-223-3045

第49回カンタンをきく会

東京都青梅市

夏の終わりから秋にかけて美しい声で鳴くカンタンという虫がいます。カンタンは体長約1cmで、緑味のあるコオロギ科の小さな虫ですが、鳴く虫の女王と呼ばれるほど鳴き声の美しさは万葉の昔から有名でした。この美しい音色を聞いていただこうと、御岳山でカンタンを聞く会が9月4日の土曜日から1泊で行なわれます。夜、散歩をしながら鳴き声を楽しんでいただいたり、カンタンについての講演会があります。翌日は、東京都の無形文化財、太々神楽（だいだいかぐら）をご覧いただきます。<http://www.omekanko.gr.jp>

- 開催日：9月4日（土）・5日（日）1泊2日
- 開催場所：青梅市御岳山
- お問い合わせ先：青梅市観光協会 TEL:0428-24-2481

三富村ふる里祭り

山梨県三富村

今年で24回目となります三富村ふる里祭りは、毎年8月14日の旧盆に道の駅みとみ特設会場で行われます。郷土芸能コーナーでは、笛吹太鼓保存会・笛吹童太鼓・笛川中吹奏楽部による演奏が行われます。郷土食コーナーでは、村の特産品であるイノブタを使ったイノブタ汁をはじめ、きびもち、ジャガバターを販売しています。民芸コーナーでは、村の達人によるわら細工等を体験できます。子供たちに大人気の久渡の沢釣り場でのニジマスのつかみ取り（無料）、広瀬ダムでのボート乗船（無料）が行われ、高齢者から子供まで楽しめるお祭りです。

<http://www.vill.mitomi.yamanashi.jp>

- 開催日：8月14日
- 開催場所：道の駅「みとみ」特設会場
久渡の沢釣り場 広瀬ダム
- お問い合わせ先：三富村役場企画観光課 TEL:0553-39-2121



毎土あり市（まいどありいち）

静岡県三島市



毎週土曜日の午前中、市内農家の出品を主体とする朝市が行なわれています。三島や周辺地域で採れた新鮮な野菜、果物、花、それらを使った漬物や干物などの加工品も並んでおり、この日を楽しみにしている人などで大変にぎわっています。

- 開催日：毎週土曜日
- 開催場所：(株)静岡銀行中島支店駐車場
(三島市本町1-2)
- お問い合わせ先：三島市役所商工観光課
TEL:055-983-2656

夕陽&お月見の会

静岡県西伊豆町



西伊豆町では、毎年十五夜の近くに山頂で大きな満月を見ながら、昔なつかしい鍋などを食べ、楽しい一時を過ごしてもらうイベントを行っております。山頂で夕陽を見ながら暗くなるのを待ち、いよいよ月が出てきた時の大きさ、美しさには皆さん感動しています。また、昔なつかしいすいとんの鍋なども用意し、冷たい体を温めてくれます。参加料は1,000円を予定しております。皆さん、山頂で大自然の美しさを感じ、癒されてみてはいかがでしょうか。

<http://www.town.nishiizu.shizuoka.jp/nishiizu/>

- 開催日：9月26日（日）
- 開催場所：西伊豆町大沢里(大城)誕生の森
- お問い合わせ先：西伊豆町企画観光課
TEL:0558-52-1114

謙信公祭

新潟県上越市

謙信公祭は戦国の英雄、上杉謙信公の武勇と遺徳を偲び開催されます。甲冑を身にまとった武者たちの出陣行列や、春日山城史跡広場で行われる川中島合戦の再現は、まさに戦国絵巻を見ているようです。このほか、献納米合戦や神輿巡行、大民踊輪踊りなど様々なイベントが開催されます。



- 開催日：8月16日（月）・17日（火）
- 開催場所：春日山城跡周辺
- お問い合わせ先：上越市観光課 TEL:025-526-5111

あわら温泉開湯120周年祭

福井県あわら市



あわら温泉開湯120年を記念して芸姑みこし、よいよいみこし、提灯山車巡業、芸姑の手踊りたマーチングのパレード、ジャズやクラシックのコンサート、地元特産市など多彩なイベントが行われます。

<http://www.city.awara.fukui.jp>

- 開催日：8月1日（日）～8月9日（月）
- 開催場所：あわら市街一円
- お問い合わせ先：あわら市観光商工課観光グループ
TEL:0776-73-8029（直通）

サマーフェスタ in 日本平成村

岐阜県武儀町

魚のつかみ取り・平成太鼓に盆踊りなど楽しくも温かいお祭りが開催されます。献灯狂俳大会のあんどんは風流な夏の夜祭を演出しており、接近して眺めることが出来る花火が始まると祭りは最高に盛り上がります。

<http://www.nhk-chubu-brains.co.jp/gifu/mugi/>

- 開催日：8月15日
- 開催場所：道の駅「平成」
- お問い合わせ先：武儀町役場企画商工課
TEL:0575-49-2121 内線225



玄宮園で虫の音を聞く会

滋賀県彦根市

初秋の彦根のイベントとして定着している虫の音を聞く会は、江戸文化の贅をつくした池泉回遊式庭園で国の名勝指定を受けている玄宮園で行われている風流な催しです。

国宝の彦根城天守に映える月を愛で、マツムシやスズムシなどの虫の音に耳を傾けながら野天の茶会が楽しみ、また、船上の雅楽演奏は名園の美しさを引き立てるもので、情緒的な雰囲気たっぷりの彦根ならではの観月の宴です。この虫の音は、彦根城の時報鐘の音とともに、「日本の音風景百選」に選ばれています。<http://www.hikoneshi.com>

- 開催日：9月1日（水）～9月30日（木）
- 開催場所：国宝彦根城内玄宮園
- お問い合わせ先：（社）彦根観光協会 TEL:0749-23-0001



あいとうマーガレットステーションイベント情報『ヒマワリ園オープン』

滋賀県愛東町

あいとうマーガレットステーション裏のお花畑9,000㎡に順に夏の王様ヒマワリの花が咲き広がります。

開園時間：9:30～17:00 摘取料：200円（5本） 定員：無 予約：不要

<http://www.biwa.ne.jp/~ams/>

- 開催日：7月中旬～8月下旬（予定）
- 開催場所：道の駅あいとうマーガレットステーション裏お花畑
- お問い合わせ先：道の駅あいとうマーガレットステーション TEL:0749-46-1110

第22回姫路城観月会

兵庫県姫路市

中秋の名月の夜にライトアップされた姫路城を背に、琴や和太鼓、日本舞踊等の郷土歴史芸能が披露されます。また、当日はお茶席、地酒、お月見だんご、千姫弁当の各販売コーナーも開設されます。

<http://www.himeji-kanko.jp/>

<http://www.city.himeji.hyogo.jp/>

- 開催日：9月28日（火）雨天時9月29日（水）
- 開催場所：姫路城三の丸広場
- お問い合わせ先：姫路市観光振興課 TEL:0792-21-2511



第52回 デカンショ祭

兵庫県篠山市



日本屈指の民謡の祭典として全国的にも有名なデカンショ祭。昼間は篠山市キャンペーンレディーや趣向をこらした花自動車、地元小中高校生の音楽隊が勢ぞろいして祭の開催を彩る市街地パレードが行われます。また、夜には、丹波杜氏の酒造り歌にのせて銘酒の鏡割りなどが行われ、巨大なやぐらを囲んで、市内はもとより遠来の人たちもそれぞれ連を組み、幾重もの輪を作り、デカンショ節に合わせて心ゆくまで踊ります。

<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>

- 開催日：8月15日（日）・16日（月）
- 開催場所：篠山城跡周辺
- お問い合わせ先：デカンショ祭実行委員会
TEL:079-552-0758



第26回津山納涼ごんごまつり

岡山県津山市

津山の夏の風物詩となっているごんごまつり。今年は「よみがえれ川の魂」をメインテーマに、8月7日（土）と8日（日）に開催されます。メインイベントとして、土曜日は約1,400人の踊り連が繰り出すごんごおどりが、日曜日には祭りのフィナーレを飾る岡山県北最大級の4,000発の花火大会があります。河川敷で打ち上げる花火は周辺からもよく見え、川面に映り込む花火はとても幻想的です。また、会場には100を超える夜店が出店し、祭りの雰囲気盛り上げます。みなさんは是非お越しください。

<http://www.city.tsuyama.okayama.jp>

- 開催日：8月7日（土）・8日（日）
- 開催場所：吉井川河岸緑地
- お問い合わせ先：第26回津山納涼ごんごまつり実行委員会事務局（津山市商工観光課） TEL:0868-32-2082

ちんこんかん

広島県三原市

ちんこんかんは、毎年8月16日、新倉町うしがみしゃ牛神社（大須賀神社）の例祭日に奉納される踊りです。赤い衣装と鬼面をつけ、小さな破魔弓を持った大鬼と六尺棒を持った小鬼が大太鼓、小太鼓、鉦にあわせて力強く踊ります。

この牛神社は、死んだ牛を祭るために天文年間（1532～1555）に建立されたと伝えられますが、しだいに雨乞いや虫よけの祈りも兼ねてこの踊りを奉納するようになったといわれています。

広島県無形民俗文化財に指定されています。

[http://www.tako.ne.jp/~m-](http://www.tako.ne.jp/~m-kankou/matsuri/chinkonkan/index.html)

[kankou/matsuri/chinkonkan/index.html](http://www.tako.ne.jp/~m-kankou/matsuri/chinkonkan/index.html)

- 開催日：8月16日（月）
- 開催場所：三原市新倉町
- お問い合わせ先：三原市生涯学習課 TEL:0848-64-2137 FAX:0848-64-0137



仁尾竜まつり

香川県仁尾町



仁尾竜まつりでは、真夏の暑い一日、観客が巨大竜に一齐に水を浴びせます。こんな祭りは全国でもこの仁尾町だけでは…。200年程前、大干ばつの時に雨乞い神事として行っていた雨乞い竜を、町おこしのイベントで復活させました。「雨乞いじゃあ～。竜に水あぶせ」と独特の掛け声で、全長35m・重さ3tの巨大竜が150人程の担ぎ手により高々と差し上げられます。水しぶきと掛け声、観客と担ぎ手、全ての熱気が渦を巻いて盛り上がります。担ぎ手は当日の飛び込みもOKです。是非、みんなで盛り上がりましょう。（担ぎたい人は下着の着替えを持参して下さい）

<http://www.town.nio.kagawa.jp/>

- 開催日：8月7日（土）
- 開催場所：仁尾町役場周辺
- お問い合わせ先：仁尾町産業振興課 TEL:0875-82-5105

鹿島市制50周年記念事業 第7回かしま伝承芸能フェスティバル

佐賀県鹿島市

鹿島市は、有明海に面したところにあり、人口約3万3千のまちです。このまちでは、浮立などの伝承芸能が数多く保存継承されています。かしま伝承芸能フェスティバルは、これら古くから伝わる伝承芸能の保存継承や地方からの情報発信と地域活性化を目的として開催しています。開催場所は、日本三大稲荷のひとつ祐徳稲荷神社で、毎年県内外から多くの観客で賑わいます。今回で第7回目を迎え、鹿島市の秋のイベントとして定着しているところです。

<http://www.city.kashima.saga.jp/>

- 開催日：9月12日（日）
- 開催場所：祐徳稲荷神社
- お問い合わせ先：鹿島市商工観光課 TEL:0954-63-3412



第10回 全国棚田（千枚田）サミット

佐賀県相知町



全国棚田（千枚田）サミットは、全国棚田（千枚田）連絡協議会が平成7年から毎年開催しているものです。環境保全や文化・歴史遺産として棚田を保全することの意義や必要性について話し合い、中山間地域のさらなる維持活性化につなげようと実施されています。

一般参加者も多く、参加者が互いに情報を交換し、交流を深めています。

とくに今年は、日本人の食生活の中でのコメの役割についても一つのテーマとしています。あなたも、「第10回全国棚田（千枚田）サミット」に参加してみませんか？

<http://www2.saganet.ne.jp/ouchi/>

- 開催日：9月3日（金）・4日（土）
- 開催場所：佐賀県相知町内
- お問い合わせ先：2004年全国棚田（千枚田）サミット実行委員会事務局（相知町役場農林観光課内）
TEL:0955-62-2368

火の国まつり

熊本県熊本市

熊本の夏を、さらに熱く彩る「火の国まつり」は、8月11日から13日までの3日間、熊本市内中心部の目抜き通りや上江津湖などを会場に、だれもが気軽に楽しめる郷土色豊かな市民総参加のまつりとして、多彩なイベントが行われます。中でも目玉となる「おてもやん総おどり」は例年、100団体約1万人が参加する「火の国まつり」最大のイベントです。

13日はフィナーレを飾る県下最大の「納涼花火大会」が上江津湖で開催され、約1万発の打ち上げ花火が熊本市の夜空を焦がします。是非お越し下さい。

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

- 開催日：8月11日（水）～13日（金）
- 開催場所：市内目抜き通り・上江津湖
- お問い合わせ先：熊本国際コンベンション協会・火の国まつり委員会熊本市
動植物園 TEL:096-368-4416



以上の情報の収集に当たりましては、都道府県関係課の多大なる御協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

農村振興基本計画を作成しませんか？

農村振興基本計画は、地域住民等の多様な主体の参画のもと、地域のボトムアップで農村の地域特性や地域資源を活かしたきめの細かい地域振興目標を定め、これを実現するための施策を幅広く盛り込んだ農村振興のマスタープランです。

農村振興基本計画を作成すると・・・

- ・農山漁村の魅力の向上、豊かで住みよい地域づくりの推進に役立てることができます
- ・市町村合併による行政の広域化に対して、地域住民の意向を十分にふまえた地域ビジョンづくりが可能です
- ・地域住民の地域づくりに関する住民の意識の醸成が図れます
- ・農村振興基本計画は関係府省が連携して支援します

地域住民をはじめとした多様な主体の参画
(アンケート・ワークショップ・懇談会等)

行政と地域住民が一緒に地域の魅力等を再認識し、地域づくりについて考えましょう

関係府省が連携して支援します

農村振興基本計画
(個性ある地域づくりのためのマスタープラン)



地域が自ら考え、自ら行動する地域づくりの実現

農村振興基本計画に関してのお問い合わせは、お近くの各地方農政局農村計画部農村振興課農村整備計画係若しくは、農林水産省農村振興局農村政策課農村整備計画係（内線4619）まで連絡をお願いします。農村振興基本計画に関する情報はホームページで閲覧が可能です。

<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/home/noukeihan/indexkihoikeikaku.htm>

事務局からのお知らせ

● お詫びと訂正

季刊「新往来」第12号（平成16年3月18日）の第1回オーライ！ニッポン大賞審査委員長賞受賞者又は団体（4頁）に受賞団体の「特定非営利活動法人里山倶楽部（大阪府大阪市）」が掲載されていませんでした。また、同号のアンテナショップ情報「秋川ファーマーズセンター」（東京都あきる野市）（19頁）の写真に誤りがありましたので、訂正した写真及び記事を本号に掲載させていただきました。お詫びして訂正いたします。

● 皆様からの情報提供をお待ちしております

季刊誌「新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など全国に向けて発信したい情報がありましたら是非ご連絡下さい。なお、次号（第14号）につきましては、平成16年9月頃の発行を目標としております。7月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに各都道府県又は下記連絡先までご連絡下さい。全国各地の方々に「交流」に関する多くの情報の発信を行うため、皆様からお寄せいただいた情報については、できる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

原稿の提出方法について

- ・「イベント情報」以外の各記事につきましては、原稿300～400字程度並びに記事に関連する写真・イラストなどを添えて提出して下さい。
- ・「イベント情報」につきましては、原稿200～250字程度並びに、「開催日」・「開催場所」・「問い合わせ先」の必要事項を添えて提出して下さい。関連する写真などがありましたら併せて提出して下さい。

● 編集・発行：農林水産省農村振興局農村政策課（担当＝宮崎・清水・矢野）

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-8111（内線:4619）FAX:03-3595-6340

・農林水産省のホームページでは、皆様からお寄せいただいた情報や都市と農山漁村の共生・対流など様々な情報を掲載しております。是非一度ご覧下さい。<http://www.maff.go.jp>